

第 46 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：樹林環境(雑木林)の順応的管理—

2月21日(土)、今回の現場研修会は、先月に引き続き樹林環境(雑木林・植林地)の順応的管理というテーマで、園内であまり手を入れていない樹林地の皆伐・間伐作業を行いました。



2月になり、座間谷戸山公園もウメが
しっかり花をつけていました。(写真左側)



内容は前回と同様、午前中は雑木林での
伐採作業です。今回はその中で皆伐(ある
範囲の森林の木を一度に全て伐採すること)
予定地の伐採作業を行いました。



繰り返し参加されている受講生は、
慣れた手つきで作業を進めていました。



まだ作業をしていない場所はというと…
こんなにも暗いんです。これでは新しく芽を
出そうとしても、圧倒的に光が足りません。



これくらいなら大丈夫！と思いますが、落葉樹
なので春から葉が出はじめれば、すぐに林床は
暗くなってしまいます。なので、萌芽更新をしていく
ためには、皆伐のようにもっと伐採が必要です。



今回は、実際に林業に従事している方にチェーンソーによる高木の伐採なども行ってもらいました。



また、今回は現場で板材などに加工ができるチェーンソーのアタッチメントを使用し、そのデモンストレーションを行いました。きれいに加工できているでしょうか？



次に、2年近く前に間伐材で作った落ち葉溜めを試しに掘り返してみました。中はやわらかい腐葉土になっていて、その中には・・・



いました！カブトムシの幼虫です！！
この落ち葉溜めを産卵場所として選んでくれたんですね。これも立派なビオトープです。



昼食後は、環境に関する記事の発表です。
ここではビオトープに限らず、エネルギー問題、
企業の環境への取組み、環境政策など色々なこと
についての話題があがり、とても勉強になります。



午後も前回と同様、植林地の間伐作業です。
ここはまだ伐採を始めて2回目なので、
まだまだうっそうとした森という感じですね。



前回作業を行った方がリーダーとなり、伐採の進め方などを初めての方に教えながら作業を進めていきます。



雑木林での作業と同様に、伐採した木は一定の長さに切り揃え、材料として今後色々なかたちで利用していく予定です。

まだまだ伐採予定の木は残っていますので、まだ参加されたことのない受講生の方は、是非一度森での作業を体験しに来てください！